

## おまけのおまけシリーズ

### 「ガーディアンの気持ち」ならぬ「私の独り旅日記」→第9回

今回の旅は「秘湯温泉を訪ねる旅」でなく、今年3月6日～8日にかけて早春とはいえ、晩冬の青森、秋田のローカル線に乗って竜飛岬や五所川原のねぶた会館で「立佞武多」(たちねぶた)をなんとなく見たくて、思いつくままの気まま旅です。また五能線の旅は何度行っても素敵でした。

1) 第1日目は青森の竜飛岬まで行きたくてネットで調べていたら、朝相当早く出ないといけないということで東京発6時32分の1番の新幹線に乗るには我が家を4時半頃出るので前回経験したタクシー代2,000円はもったいないし、朝弱い私には辛いと考えて前日、東京駅近くのビジネスホテルに泊まることにしました。金額的には割高ですが、東京の友人達とも会えるし、しかも疲れない?と考えました。今回も吉永小百合さんが宣伝している「大人の休日クラブ」の格安切符の旅でした。

二宮駅で切符を買いながら、時間などを聞いていたら、竜飛岬まで行くのに津軽線が何年か前の台風の影響で「蟹田」(かにた)という駅から先が不通になっていて行けない」と言う。私は「じゃあ、どうすればいいの?」と聞くといろいろと調べてくれて、蟹田駅から三厩(みんまや)駅まで、またその先の竜飛岬まで乗合タクシーがあるとのことで一安心。(少々高くても仕方ないか?)

現地に行くともっと驚いたことに、蟹田駅から三厩駅経由して竜飛岬まで約40キロがたったの500円という。乗合タクシーと言っても3月初めでしたから観光客は私だけ、しかも70歳?以上の高齢者は300円だと言われて更にラッキーでした。行きながら運転手によく聞いてみると、地域住民と観光客のためにJRと行政と地元企業がお金を出し合っただけの特別措置とのことでした。津軽海峡の海底トンネルも海岸から10キロも手前から掘ったと説明してくれて、ビックリもしました。

3月初旬の青森はまだ真冬のような寒さでした。竜飛岬に着いてみると、風が強く観光客は私一人で、当然土産物屋もまだ閉まったまま。(竜飛岬は1年中、風が強いので有名) 竜飛岬の展望台から一人寂しく津軽海峡や北海道、大間岬を見ました。津軽海峡沖で取れるマグロも大間の港で陸揚げされると大間マグロというブランドになり、かなり高値になるとか。

さて、竜飛岬にはもう一つの観光名所があります。竜飛岬を訪れた人ならご存じと思いますが、国道339号線という国道で、車もバイクも通れず人間だけが通る階段国道で全長388メートル、362段の階段国道です。津軽海峡の海を眺めながら、竜飛岬の温泉を独り占めにしました。帰りもタクシーがお願いした時間に迎えに来てくれて、また300円で約40キロ蟹田迄戻りました。

青森に戻って、ホテルで大間の美味しいマグロのお寿司が食べられる所を聞いて寿司屋に行って、大間のマグロの値段を見ると時価とありましたが、ちょうど地域振興の割引という特典もあり、「まあ、たまの贅沢もいいかな？」と独り言を言いながら美味しい大間のマグロを堪能しました。

2) 第2日(3月7日)は青森からバスで五所川原に出ました。電車よりもバスの便が良かったのです。2時間半ほどの旅でしたが快適でした。電車と違う景色も見られました。

五所川原は何ヶ所か名所がありました。ねぶた祭りというと青森と弘前が有名ですがここ五所川原の立佞武多(たちねぶた)もかなり有名です。

重さ19トン、高さ23メートルは4階建てビルの中に3基入っていて本祭りは毎年8月4日から8日まで、建物の重い扉が開いて外に出るそうです。それは、それは壮観とのことです。そう言われると本祭りを見たくくなります。

五所川原という町はさほど大きな町ではありませんが、あの演歌で有名は吉幾三の出身地でもあり、コレクションミュージアムもありました。また少し離れた金木という所は太宰治の生家もあります。五所川原には太宰が良く通ったという叔母の家が「思い出の蔵」という建物も名所になっていました。

五所川原からあこがれの五能線に乗って福浦とう所に行きました。福浦という所は日本によくある何も無い漁師町で、そこから歩いて黄金崎という所に行きましたがやはり何も無く、地魚定食を食べて、疲れてしまったので福浦までタクシーで戻り、再び五能線に乗って秋田に出ました。

秋田は懐かしい駅で、昔(60年も前)に山の帰りによく立ち寄った駅で駅前の銭湯に入ったり、歌にあるような、お馬に揺られて秋田美人の花嫁さんがお嫁に行くところに出くわしたりしました。

それから秋田では比内鶏料理やいぶりガッコも食べましたが、やはり歯が悪くなった今、残念ながら美味しいいぶりガッコを食べられなくなっていました。残念！(笑)

秋田では駅前の安いビジネスホテルに泊まって、翌日秋田新幹線に乗って東京へ、そして大磯へと帰ってきました。今回の旅は秘湯の温泉を訪ねる旅ではありませんでしたが、始めて行く寒風吹き荒れた竜飛岬や、ただみたい安い乗り合いタクシー、そして五所川原の立佞武多などが見られて、楽しい独り旅でした。

さて次の旅はどんな旅で、どんな出会いのある旅が出来るか？ワクワクしてきました。

(by テツ&ゴン)